

基 本 条 例

基本条例【京都府行政運営の基本理念・原則となる条例(仮称)】

要綱(全体構成)

前文

私たちの京都府は、古くから進取と自治の気風にあふれ、人と人との絆や、人と自然の調和の中で、生活、産業、文化、芸術、学術など様々な分野において多様性を受け入れ、南北に長い各地域が交流を重ねながら、自主と自立を尊ぶ府民のたゆまぬ熱意と努力により、豊かな個性や美しい環境をはぐくみ、特色ある伝統や文化をかたちづくってきました。

時代や社会情勢の急速な変化が生み出す多様な課題が私たちの社会生活に様々な影響を与える中で、将来にわたってだれもが安心して育ち、学び、働き、そして健やかに暮らすことができ、人が人として生きる喜びを分かち合い、府民が幸福を実感できる社会をつくるため、地域の実情を知る地方公共団体には、地域の状況に応じて課題解決を図ることが求められています。

そうしたことから、府は、府民一人ひとりの尊厳や人権が尊重されるために、互いが思いやりの心でつながり、支え合う社会を築くとともに、府民が自治の主役となり、各地域が永い歴史の中でつちかかってきた環境や文化の財産をいかしながら、相互に活発な交流や協働を進めることができるよう、努めていかなければなりません。

また、府は、府民に最も近い地方公共団体である市町村の活動を尊重し、対等な関係のもとで連携と協力を深めるとともに、府民、民間の団体等地域社会の多様な主体が支え合い、公共的な役割を担うことができ、自由で多彩な活動ができる環境を整えていかなければなりません。

このような認識のもと、住民自治を基本とする府政を進めていくことをめざし、府政運営や地域づくりの基本となる考え方、府政運営の行動原則等を明らかにし、府民の合意のもとでこれを共有するため、府政運営の基本となる条例としてこの条例を制定するものです。

基本理念

府政は、府政運営及び地域づくりが次に掲げる基本的な考え方に基づき進められるようにします。

人を大切にし、人がつながり、支え合う、心豊かな社会づくり

府民が自ら主役となり、地域の魅力を高める自立した社会づくり

多様な主体がともに役割を担う社会づくり

基本原則

府政は、基本理念にのっとり、かつ、次に掲げる府政運営の行動原則に基づき行うものとします。

府民が起点となり、府民が
いかされる
府政運営

府民に明確な
将来ビジョン
を示し、府民
の安心と活力
の向上を支える
府政運営

府民によく見
える、信頼さ
れる府政運営

府民の参画と
協働を尊重し
支える府政運
営

市町村等との連
携・協力による
府政運営

知事その他の執行機関の責務

知事と議会との関係の基本

* 基本理念、基本原則等本文は、次項に記載

京都府行政運営の基本理念・原則となる条例（仮称）（要綱）

※この要綱は、7月24日から8月24日までの間募集しました、「京都府行政運営の基本理念・原則となる条例（仮称）」骨子に対する府民の皆様からの御意見等を踏まえて作成したものであり、再度、府民の皆様の御意見を募集するためのものです。

前 文 *前項に記載

基本理念

府政は、府政運営及び地域づくりが次に掲げる基本的な考え方（以下「基本理念」という。）に基づき進められるように、行うものとします。

- (1) 府民が人間として大切にされるために、だれもが社会の一員として参画することができ、府民同士が尊重し合い、つながり、支え合う、人にやさしい社会を実現すること。
- (2) 府民の自主的な活動が大切にされ、地域の魅力を高め合う自立した社会を実現すること。
- (3) 府、市町村、府民、民間の団体等がともにその役割と特性をいかして、連携及び協働をし、地域の課題を解決するための活動が豊かに展開される社会を実現すること。

基本原則

府政は、基本理念にのっとり、かつ、第1から第5までに定める府政運営の行動原則（以下「基本原則」という。）に基づき行うものとします。

第 1 府政運営は、自治の主役である府民が起点となり、府民生活において府民が何を求めているかを十分に把握し、府民の期待にこたえることができるように、行うものとします。

2 府政運営は、府民及び地域の持つ力が引き出され、相互に働き合って、最大限いかされるために必要な環境を整えることができるように、行うものとします。

第 2 府政運営は、府のめざす方向性を、府民参画のもと、将来構想、基本計画等の形で明らかにし、府民がこれを共有することができるように、行うものとします。

2 府政運営は、府民の社会的な立場や状況及び地域の実情を踏まえ、府民が安心・安全で生きがいや希望のある生活を送ることができるように、行うものとします。

3 府政運営は、効果的かつ効率的な事業の実施、健全な財政運営等により、長期的に安定した財政基盤のもと、持続的かつ自立的に施策等を展開することができるように、行うものとします。

第 3 府政運営は、府政に関する情報について、多様な方法で、かつ、わかりやすい形で積極的に提供し府民との共有を図り、府民への説明責任を果たすことにより透明性を確保するように、行うものとします。

2 府政運営は、府民の視点から法令遵守の徹底を図るとともに、個人情報保護等適正な執行が保障されることにより、公平かつ公正に進め、府民の信頼を得ることができるよう、行うものとします。

第 4 府政運営は、府民のだれもがその立場や状況に応じて、その自由な意思により、様々な手法で社会の活動に参画できるように、行うものとします。

2 府政運営は、政策の立案、実施、評価等の過程に府民が参画できる機会を適切に確保することができるように、行うものとします。

3 府政運営は、府民、民間の団体等が地域の課題解決等のために行う活動を尊重するとともに、必要に応じてそれらの活動を支え、協働できるように、行うものとします。

第 5 府政運営は、政令指定都市である京都市をはじめとする市町村との適切な役割分担と協調のもと、十分な連携と協力により、地域の行政課題に的確に対応した、府民にとって効率的で便利な行政サービスが提供されるように、行うものとします。

2 府政運営は、地域の持つ特性をいかし、互いに良い効果を引き出し合う広域的な施策、府が持つ資源をいかした専門性の高い施策や市町村間の均衡を支える施策を実施するなど、総合的な調整の役割を果たすように、行うものとします。

3 府政運営は、府域を越えた行政課題等について、国、他の地方公共団体等と連携及び協力をしてその解決を図ることができるよう、行うものとします。

知事その他の執行機関の責務

1 知事その他の執行機関は、基本理念及び基本原則に基づいて、府民が府政に関する情報を知ること、府政に参画すること、府政による行政サービスの提供を等しく受けること等ができるよう府政の運営に努めなければなりません。

2 知事その他の執行機関は、基本理念及び基本原則に基づいて必要な制度及び手続の整備及び充実に努めなければなりません。

3 知事その他の執行機関は、基本理念及び基本原則に基づく府政運営の実現に必要な組織の整備を行うとともに、府民とともに地域の課題に対応し、府政運営を担う能力を有する職員の育成に努めなければなりません。

知事と議会との関係の基本

知事は、議会と知事がともに府民の信託を受けた代表であるという関係を踏まえ、府政の中で相互の役割を尊重し、それぞれの機能を最大限に発揮することにより、府政が府民福祉の増進に向けて運営されるよう努めるものとします。

